

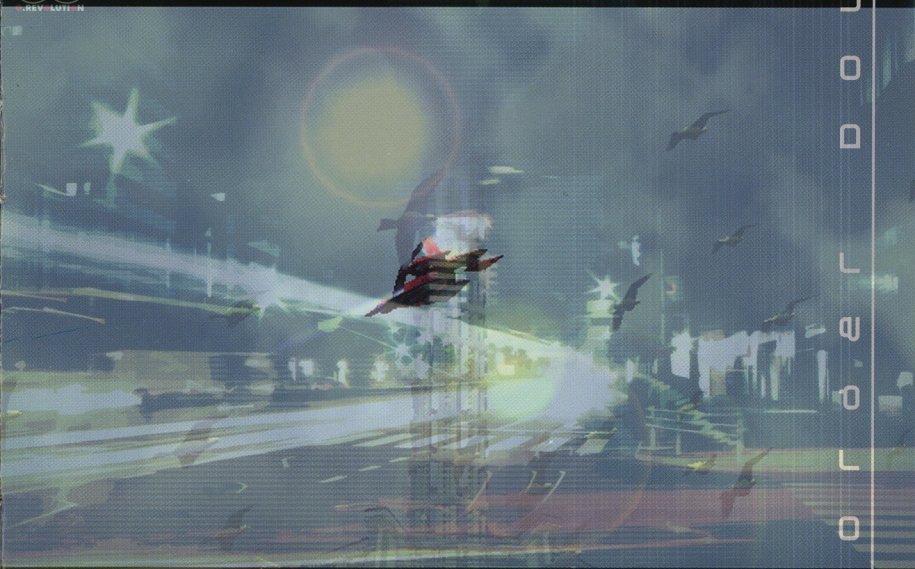
REVOLUTION



B o r d e r D o w n

- 01 . Last News Cntract)
- 02 . S.D.F. (select)
- 03 . Upon the new raid (stage 1)
- 04 . Prot #1 "Eyes" (Boss A)
- 05 . Girl of Power (stage 2)
- 06 . Prot #5 "Blade Action" (Boss B)
- 07 . Bye-bye Mars -take.II- (stage3G)
- 08 . Fleet Game (stage 3RY)
- 09 . Prot #7 "Illusion" (Boss C1)
- 10 . Prot #2 "Defensive Style" (Boss C2)
- 11 . Why do you come back? (ending A)
- 12 . One minute of love (not used)
- 13 . Lost Temple (stage 4A)
- 14 . Border Line (stage 4B)
- 15 . Prot #11 "Cage" (Boss D)
- 16 . Snow Fox (stage 5)
- 17 . Prot #9 "Dragons Lair" (Boss E)
- 18 . Crushing Blow (stage 6A&6B)
- 19 . Last Prot "Bloom" (Boss F)
- 20 . Rain (stage 6C&6D)
- 21 . Morning Kisses (last boss)
- 22 . Shower the Dreams (ending B)
- 23 . Upon the new raid -reprise- (staff roll)
- 24 . Walk in the park (Name)

- 25 . Girl of Power - Arrange
- 26 . Snow Fox - Arrange
- 27 . Upon the new raid - Arrange



C
E
O
O
L
E
O
L
O
B

B o r d e r D o w n

この文章を書いている段階で
Dreamcast版の移植作業の真っ最中
だったりします。

このサウンドトラック同様、皆さんに
楽しんでいただける内容にするべく、
がんばっておりますので
よろしくおねがいします。

◀プログラマ 藤田勝幸

Yack. 氏作曲の横シューを作る。

メタルブラックに感動してこの業界に入った
私にとって、夢が一つ叶ったお仕事でした。

▶ソフト屋「でん坊」

時間も人数も決して十分ではないのに、
通常よりボリュームのあるゲームを作ろう
なんて、大馬鹿者ですか？>俺達

そんなゲームに付き合ってくれるYack.さん
には、ホントに感謝です。

自機は赤いですが、三倍でもなんでも
ありません。

後半出てくるコロナ・コロネットは
三倍どころか3分の1です。

▶ソフト担当 竹田雅

▶グラフィック担当 加藤

▶キャラ担当 きくちまさみ

ハードな内容にあわせたタッチにして、
SF小説っぽさを狙って見ましたが
どうだったのでしょうか。

EDの絵をたくさん描いたので全部
見て欲しいです。

苦労して作ったキャラには
怨念が憑いてるかも？

ぜひゲームでもYack. SOUNDを聞きつつ
プレイして、敵キャラを成仏させて
あげて下さい。

▶キャラクターデザイン かどつかさ

冬に発売したイメージサントラからもう半年以上過ぎたんですねー。
時が経つのは早いもの。てなわけで待望のオリジナルサントラです！
まずはこのCD及びDC限定版を買っていただいた方々に感謝！
そして、素晴らしい仕事をして下さった渡部氏に感謝！

…思えばここまで来るのに長い、長い道のりでした。予定では12月(マスター
予定)までしか資金がないのに、どうしてもリメイクしたい部分が出てきた末、
苦渋の選択として「延期+緊急で下請け仕事を入れて足りない資金を稼ぐ」
という荒業を選択したときには、キッカリ3年は寿命が縮みました。
こんなバカな選択を一緒にしてくれたチームの皆に、感謝！です。

サウンドについては、出来上がりもさることながら、出来上がるまでの
渡部氏との言葉のキャッチボールが非常に面白かった印象があります。
ぶっちゃけお互い腹の探り合い、というか(笑)。おかげで楽しく仕事をさせ
ていただきました。またやりましょう！

そんなわけで(?)ゲーム自体は至らないところもありますが、個性的な
「オモロイ奴」に育ったとは思いますが、末永く、サウンドと共に皆様
に愛されればいいなあ…と願わずにはられません。

それではまた次の機会に！

ディレクター マルヤマ

音楽を作る際、「どれだけ自分がめり込めるか?」を念頭において常に
作曲してるのですが、今回はその比率をきもーちプレイヤー側においてたり
します。

設定その他もろもろの事項をわざとフィルターを通す感じにとどめてみ
たり、丸山氏との話も半々ぐらいの割合で解釈してみたりと、そこまでしな
いといつもと変わらない「どえらい方向にぶっ飛びさん」になってしまうな
あと、普通の人が普通に出来る事をわざわざ考えながらやってる私ってい
たい…。

そんなこんなので出来あがったボーダーダウンの子供達はちょっと優等生
風味ですが、末永くかわいがって頂ければ幸いです。

最後に、又、例によって私のわがままに付き合ってくれた方々に感謝の
気持ちを込めて。

渡部 恭久 -Yack.-



G.rev Ltd. Official Site
<http://www.grev.co.jp/>

SuperSweep Product Information
<http://sweeprecord.com/>



Produced by Shinji Hosoe (SuperSweep co.,Ltd)

Recording at Studio Dual Moon / SweepStudio

Mastered at SweepStudio

Composed by Yasuhisa Watanabe -Yack.-(Studio Dual Moon)

Arranged by Shinji Hosoe (SuperSweep co.,Ltd) #26

Ayako Saso (SuperSweep co.,Ltd) #25

Yousuke Yasui (SuperSweep co.,Ltd) #27

Additional Musicians by

Katsumi Yoshihara(Eg) #25,26

Shigeso Sasaki(Dr) #25,26

Designed by Yoko Katoh (LILT)

Super Thanks Hiroyuki Maruyama (G.rev Ltd.)

"BORDER DOWN" ALL Staff



